ふれあい広場

目指せ、記録更新

少年少女マラソン大会が1月28日（日）平塚競技場で開催されました。緊張のスタートはオリンピックのマラソンと同じ。ゴールを目指して一生懸命走る姿は、どの顔も光り輝いていました。

私のたからもの ▶23◀

ノモンハン桜

須藤　耒さん（黒部丘）

私の宝物は、満州とソ連の国境に咲いていたノモンハン桜です。

昭和十四年七月、炎熱下ホロンバイル草原を焦がす砲弾と敵戦車との決闘のさなか、ふと垣間見たこの可憐な花びらを、私たちは郷愁にちなんでノモンハン桜と名付けたのです。荒野のなかにまれにみられるこのオアシスでもありました。

私が今日まで無事生き抜くことができましたのも、花は、一瞬故郷に想いを馳せしめ、私たちのやさしい心のよりどころでもあり、この桜色のノモンハン桜と多くの戦友のおかげです。この貴重なノモンハン桜を色紙にはり、額に収めて飾り、これからも長生きして戦友たちの冥福を祈り続けるつもりです。

ノモンハン桜（右）と回顧録を手に

◇

★**お知らせ**　四月十五日号から新連載「我が家のナイスショット」がスタートします。あなたの家族の「ナイスショット」（カラー写真に限る）に、コメントをつけてご応募を。なお、新しい紙面構成などは三月十五日号でお知らせします。

▽応募先　〒254平塚市浅間町9－1　平塚市広報広聴課「我が家のナイスショット」係（内線314）

サークル掲示板

●親子リズム遊びを

親と子のリトミックサークルでは、リズム遊びの仲間を募集します。

▽日程　毎週金曜日
▽時間　午前9時50分～11時30分
▽場所　中央公民館
▽対象　親子（2歳半以上）
▽会費　月三千円
▽問い合わせ先　同会の奥野町子☎（58）1430

●なかよし作品展

市立小・中学校の障害児学級で学ぶ児童生徒が制作した作品を展示します。ぜひご覧ください。

▽日程　2月22日（木）～27日(火)26日は休館日
▽時間　午前9時30分～午後4時30分（27日は午後3時30分まで）
▽会場　美術館市民アートギャラリー
▽問い合わせ先　浜岳中学校の菅間清光☎（31）0479

●弦楽合奏のタベ

平塚弦楽ゾリステンがコンサートを開きます。古典から芥川也寸志まで、名曲を堪能してください。

▽期日　2月24日（土）
▽開演　午後6時
▽会場　中央公民館
▽曲目　モーツァルト／ディベルトメントニ長調ほか
▽問い合わせ先　同会の鳥海幸雄☎（33）6581

●講演会へのお誘い

平塚友の会では「子育て・親育ち－子供とつくろう明日の時代－」をテーマに講演会を開きます。

▽日程　2月29日（木）
▽時間　午前10時～正午
▽場所　平塚MNビル11階
▽講師　田中周子氏
▽問い合わせ先　同会の佐藤芳子☎（54）8617

●健康講座に

済生会平塚病院では、乳がんについて正しい知識を身につけていただこうと講座を開きます。

▽日時　2月29日（木）午後2時～3時30分
▽場所　同病院5階会議室
▽問い合わせ先　同病院医事課☎（31）0520

●バスケット部員を

サークル「BULL」では、女子バスケットの部員を募集しています。結成三年、弱小チームですが上位を目指し和気あいあいとやっています。

お気軽にお電話を。

▽練習日　毎週土曜日（時間は日によって異なる）
▽場所　神田公民館
▽対象　16歳以上の女子
▽会費　月一千円（一般）
▽問い合わせ先　同会の渡辺由美子☎（55）1298

●ぼくたちの写真を

平塚しらゆりライオンズクラブでは、青少年写真コンテストの作品を募集しています。

サイズなど詳しいことはお問い合わせください。

▽対象　市内にお住まいの小・中学生
▽テーマ　①思いやり　②家族
▽締め切り日　3月9日（土）必着
▽応募方法　所定の応募用紙に記入し、写真の裏にはって、〒254平塚市紅谷町16－25三和ビル4階　しらゆりライオンズクラブ「写真コンテスト」係へ
▽問い合わせ先　同会の山口久子☎（23）1787

●陶芸作品の展示を

陶芸クラブ「有雅陶」では、年一回会員の作品を発表しています。ぜひご覧ください。

▽日程　2月22日（木）～27日（火）
▽時間　午前10時～午後6時30分（27日は午後6時）
▽会場　市民プラザ
▽問い合わせ先　同会の渡辺嘉伸☎（23）5176

●積極的な人生を

J・レッドフィールドなどの著書を参考に知恵を出し合う仲間を募集します。積極的・意識的に人生や生活を考えるサークルの発足を目指しています。

▽問い合わせ先　加藤昌子☎（35）1664

●育児のサークルに

たまぴよクラブでは、新会員を募集します。

一歳から三歳までのお子さんとお母さんが対象で、月一回の会合と、回覧ノートや会報の発行などで情報交換をします。

入会金は五百円、年会費一千五百円です。

▽問い合わせ先　同会の田村友起子☎（33）1587

◎**サークル掲示板**

会員募集、イベント案内などにご利用を。

・送り先　〒254平塚市浅間町9－1　平塚市広報広聴課「サークル掲示板」係

お譲りします

◇**譲ります**　①**有料**　エレクトーン、ゴルフセット（左利き用）、柔道着、じゅうたん、すき焼き鍋、紳士用靴、セラミックヒーター、炊飯器、ビデオカメラ、ライティングデスク、ママコート、子供用オーバー、おんぶキャリー、搾乳器、おむつカバー、ベビーソファーベッド、女児七五三着物、ワンタッチチエア、電気毛布、籐製キャリーかご、ホットカーペット、保温がま、だっこひも　②**無料**　そろばん、ひな人形、ベビー布団、ハイチエア、ベビー用体重計、高校制服（平塚商女子、神田男子）、ビーチベッド

◇**譲ってください**　二段ベッド、本棚、子供用スキーセット、子供用スキーウエア、ミシン、パン焼き器、テレビ、冷蔵庫、プロパンガス用ガステーブル、プロパンガス用湯沸かし器、剣道防具一式、剣道着、編み機、石油ストーブ、学生服、双子用ベビーカー、チャイルドシート、健康器具、子供用自転車、女児服、男児服、ファンヒーターガード、ファンヒーター、琴

◎不用品登録情報の問い合わせは、地域づくり課市民生活係（内線263）へ

教育相談

今、子供たちの心は

昨年八月に発表された文部省の学校基本調査速報によると、年間三十日以上欠席した不登校の小・中学生は、前年度より二千六百人増え、過去最高の七万七千四百人にのぼりました。この二十年間、その数は増加の一途をたどり深刻な状況になっています。

子ども教育相談センターでもその傾向は同様で、小・中学生、高校生の不登校相談件数は年々増加しています。

子供たちは、なぜ学校へ行けなくなってしまうのでしょうか。

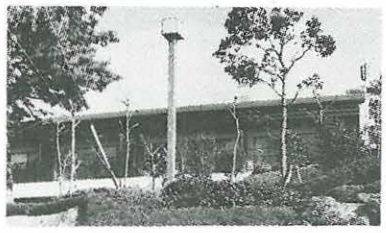
不登校になる原因はいろいろ考えられますが、今、大切なことは、原因探しをすることではなく、不登校は「子供たちからの心の叫びであり、メッセージである」という認識を持つことです。そして、私たちは子供たちの「心の声」に耳を傾け、そのメッセージを大切に育てていく必要があるのではないでしょうか。

◇

当センターでは、スクール・カウンセラーとして活躍しておられる臨床心理士の鵜養啓子氏（昭和女子大学助教授）を招き「不登校を考えるⅠ～今、子どもたちの心は～」のテーマで、公開講座（講演会）を開催します。

▽日程　3月5日（火）
▽時間　午後2時～4時
▽会場　子ども教育相談センター
▽対象　市内に在住、在学している幼児・児童・生徒の保護者の方
▽定員　約80人（申し込み不要）
☆**子ども教育相談センター**
崇善小学校北側☎（36）6012

「ひらつか天城山荘」空き状況



◇申し込み　ひらつか天城山荘
※申し込みは6か月前から受け付け
・電　話　0558－87－1050
・ＦＡＸ　0558－87－0557
・住　所　〒410-32　静岡県田方郡天城湯ケ島町上船原1120－1
・1泊2食付き、大人4,925円、子供4,405円

×印 満室　△印 早めに申し込みを　○印 まだ余裕がある　休印 休館日　平成8年2月8日現在

2月	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金		
	△	○	×	×	△	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月		
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		△	△	×	○	○	×	○	休	休	休	○	○	×	○	○		

高山まつり　市民ツアー・参加者を募集

平塚市の友好都市、岐阜県高山市を訪問し、高山市民のみなさんとの交流や、高山まつりの見学を行うツアーです。ぜひ、ご参加ください。

◇**日程**　4月13日（土）～15日（月）
◇**費用**　45,000円
◇**定員**　45人（先着順）
◇**申し込み先**　伊豆箱根トラベル☎21－6058
◇**問い合わせ先**　交流親善課☎23－1111（内線597）

予防接種●3月カレンダー

赤ちゃんの健康メモ

◎保健センター　平塚市中里34―17　☎34―0311
◎平塚保健所　平塚市豊原町6―21　☎32―0130

乳幼児健康診査

■受付　午後1時～2時
■会場　平塚保健所
■持ち物　母子健康手帳、筆記用具、歯ブラシ（1歳6か月児のみ）

【3月の3か月児】
・6日　7年11月1日～15日
・27日　7年11月16日～30日

【3月の1歳6か月児】
・5日　6年9月1日～10日
・12日　6年9月11日～20日
・19日　6年9月21日～30日

【3月の3歳児】
・7日　5年1月1日～10日
・21日　5年1月11日～20日
・28日　5年1月21日～31日

※3歳児は、尿検査も実施

育児相談

■対象　乳幼児
■相談日　毎週水曜日
■時間　午前9時30分～10時30分
■会場　保健センター
■内容　体重測定、栄養、病気、育て方、予防接種のことなど
■持ち物　母子健康手帳

母親父親教室

■3月の日程と内容

前期（妊娠6か月までの方）
4日　歯の衛生、妊婦体操
11日　妊娠中と産後の栄養、調理実習と昼食試食
15日　妊娠中のからだと生活、赤ちゃんの育て方

後期（妊娠8か月以降の方）
18日　お産の進み方と産後の過ごし方、妊婦体操、呼吸法
22日　赤ちゃんのおふろ（お父さんもご参加を）

■時間　午後1時30分～4時ただし、11日は午前10時30分～午後2時
■会場　保健センター
■持ち物　母子健康手帳、筆記用具、歯ブラシとコップと手鏡と牛乳パック（4日）、スラックス（4日と18日）、エプロンと三角巾（11日）、手ふきタオル（11日と22日）

虫歯予防教室

■対象　3月中に8か月から1歳になる乳幼児のお母さん
■日程　3月14日
■時間　午前10時～11時
■会場　平塚保健所
■持ち物　母子健康手帳、筆記用具

お誕生前健康診査

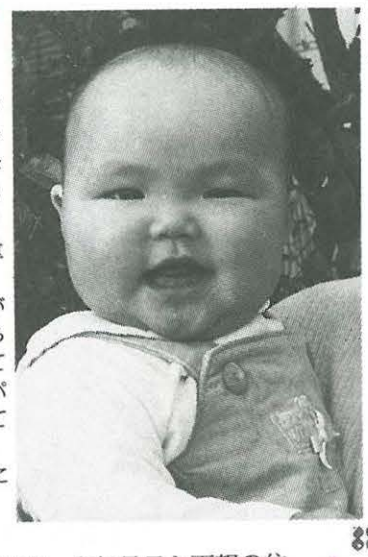
生後10か月から1歳未満の乳幼児が受ける健康診査。
母子健康手帳を持参のうえ指定の医療機関で受診を

乳幼児歯科相談

■対象　2歳6か月までの乳幼児
■会場　平塚保健所
■相談日　3月4日、18日
■時間　午前9時～10時
■申し込み　電話で平塚保健所へ

赤ちゃんのステージ

市原（いちはら）えくぼちゃん



☆平塚市四之宮792-2メゾンヤマダ205号　平塚市立山城中学校にお勤めの市原克彦さん（32歳）と純子さん（22歳）の長女。平成7年7月17日生まれ。身長65cm、体重9.3kg。
もう少しおとなしくても、とママが思ってしまうほど元気一杯のえくぼちゃん。お風呂はパパが早く帰ってきて入れてくれます。えくぼちゃんは、パパが「さっちゃん」の替え歌で歌ってくれる「えっちゃん」に大喜びです。
明るく素直で、思いやりのある子に育ってね、とパパ、ママ。

募集　はがきに赤ちゃんの氏名、性別、生年月日と両親の住所、氏名、年齢、電話番号、会社名を記入のうえご応募ください。対象は1歳未満の赤ちゃんです。応募されたはがき（1日掲載分は26日～10日締め切り、15日掲載分は11日～25日締め切り）は、抽選により広報紙に掲載します。今回は11人応募。
☆送り先　〒254平塚市浅間町9―1　平塚市広報広聴課「赤ちゃんのステージ」係

健康診査

肝臓疾患の講演会開かれる

▽日程　3月5日（火）
▽時間　午後2時～4時
▽場所　平塚保健所3階大会議室
▽内容　ウィルス性肝炎の知識
▽申し込みおよび問い合わせ先　平塚保健所予防課☎（32）0130

電話で相談を

市では、育児・予防接種・介護など、健康に関する心配事について、電話での相談をお受けしています。お気軽にご利用を。
▽相談日　毎週月・木曜日
▽相談時間　午前10時～午後4時
▽電話番号　（34）1221

特定疾患患者と家族の集い

保健所では「難病と歯」をテーマに、集いを開きます。歯周疾患などに悩んでいる本人や、ご家族の方の参加をお待ちしています。
▽日時　3月4日（月）午後1時30分～3時30分
▽場所　平塚保健所3階大会議室
▽申し込みおよび問い合わせ先　平塚保健所予防課☎（32）0130

検査と相談を

会場はすべて平塚保健所で、予約制です。
電話でご予約ください。

【歯ぐきの検診】
▽対象　妊婦および50歳未満の方
▽日時　2月27日（火）午前9時～10時30分
▽持ち物　母子健康手帳（妊婦の方）、普段使っている歯ブラシとコップ

【エイズ検査】
▽日程　2月22日、3月7日、14日（すべて木曜日）
▽時間　午前9時～11時
▽内容　相談と採血検査

【こころの健康相談】
▽対象　心、ノイローゼ、アルコールなどの悩みを持つ本人および家族
▽日程　2月27日（火）、3月6日（水）、8日（金）
▽時間　午後1時30分～3時30分
※申し込み先　平塚保健所☎（32）0130

シルバー・ヘルス

痴呆（ほう）の相談を

▽日時　2月28日（水）午後1時30分～4時
▽場所　平塚保健所
▽対象　お年寄りの物忘れ等、痴呆に悩んでいる方
▽申し込み先　平塚保健所☎（32）0130・予約制

骨粗しょう症の予防教室を

寝たきりの原因の一つといわれる骨粗しょう症の、正しい知識を学びます。
▽日程と内容
・3月5日（火）、診断や予防の食事についての講義
・3月22日（金）、リズム体操などの運動
▽時間　午後1時30分～3時30分
▽会場　豊田公民館
▽持ち物
・1日目　筆記用具、健康手帳
・2日目　上履き、運動のできる服装
▽問い合わせ先　保健センター☎（34）0311

育児なんでも百科

幼児食

離乳がやっと終わり、誕生日が過ぎると、年齢的には幼児の仲間入りとなります。
体の発育は緩やかになり、食欲にむらが目立ってきます。
精神的な発達も目覚ましく、味やにおいなどに鋭く感じるようになり、食べ物の色・形・舌触り・歯ごたえなどで、好んだり、嫌がったりします。また、母親が食事を強制したり、無関心だったりでも食べ方が違ってきます。
食事の質についても配慮が大切で、特にたんぱく質、カルシウム、鉄分、ビタミン類が不足しないよう注意しましょう。副食を十分に、主食は子供の食欲に応じて加減します。野菜・果物類は季節のものを幅広く取り入れ、その内の半分を緑黄色野菜にしましょう。
一歳児の目標としては食事の自立が挙げられます。一歳半を過ぎたらできるだけ自分でさせ、二歳までには一人で食事ができるようにしてあげます。
自我に目覚め、食事についてもわがままの出てくる時期です。規則的な食事時間、楽しく明るい雰囲気の食卓などで、よい食習慣が養われるようにしたいものです。
（健康課）

ウィーン少年合唱団の公演を

とき　5月4日（休）
午後1時開場
ところ　市民センター
入場料　S席4000円、A席3000円（全席指定）
前売所　市民センター、チケットぴあ（長崎屋4F）、チケットセゾン（神奈中プレイガイド1F）、ヤンレイレコード（ラスカ5F）、稲元屋楽器店、サクラ書店コミック館ほか
※前売は2月18日（日）午前10時から開始
・市民センターでの電話予約は、2月20日（火）午前8時30分から受け付け
◇電話予約および問い合わせ先
市民センター　☎32―2235

休日でも住民票などがとれます

駅前市民窓口センター（MNビル10階）では、土・日曜日や祝日も窓口業務を行っています。ご利用ください。

◇利用時間
午前9時～午後5時
（毎月第3日曜日および年末年始は休み）

◇取り扱うもの
住民票の写し、印鑑登録証明書、住民票記載事項証明書、年金現況届証明、母子健康手帳の交付、公共施設の利用申し込み

◇問い合わせ先　市民課（内線229）または駅前市民窓口センター☎22―1001

広報手帳

◆売店の出店者募集

公営事業所では、平塚競輪場の売店に出店を希望する方の申し込みを受け付けます。

ただし、二回連続出店した方は申し込みできません。

▽出店期間　4月～10月
▽募集店舗　特観席附属食堂2店舗、飲食売店9店舗、普通売店4店舗
▽応募資格　①市内に1年以上お住まいで、住民登録または外国人登録がされていること　②飲食売店は調理師、ふぐ包丁師等免許証、食品衛生責任者講習修了証書、普通売店は、製菓衛生師等免許証、食品衛生責任者講習修了証書のいずれかの資格所有者がいること　③希望する売店と同じ業務を市内で1年以上営業していること　④市税など市の徴収金に滞納のないこと
▽持参する物　①住民票または外国人登録済証明書　②市税完納証明（法人は法人分およびその代表者分の2部）　③印鑑　④営業許可書　⑤応募資格の②の各証書　⑥法人は定款および登記簿謄本
▽受付期間　2月27日（火）～28日（水）
▽時間　午後2時～4時
▽受付場所　平塚競輪場内事業課

問い合わせは、事業課☎（21）3935へ。

◆最低資本金の導入

株式会社と有限会社の最低資本金導入の猶予期限が三月三十一日までとなっています。

株式会社は資本金を一千万円以上、有限会社は三百万円以上にして登記をすることが必要です。増資か会社組織の変更手続きをしないと、最低資本金に達しない企業はみなし解散の扱いになります。ご注意ください。

問い合わせは、商業観光課（内線562）または工業労政課（内線550）へ。

◆初級簿記講座開く

平塚商工会議所では、初級簿記講座を開設します。

▽日程　4月1日（月）～6月7日（金）
▽回数　全26回（週2～3回を予定）
▽会場　平塚商工会議所2階会議室
▽受講料　一万八千円
▽申込期間　3月1日（金）～15日（金）

問い合わせは、平塚商工会議所☎（22）2510へ。

◆郵便局モニターに

郵便局では、ご意見などをお聴きする平成8年度郵便局モニターを募集します。

▽応募資格　郵便、為替貯金および簡易生命保険の各事業に関心をもっている満20歳以上の方
▽募集人数　五百人（男性百六十五人、女性三百三十五人）
▽募集期限　2月20日（火）
▽応募方法　郵便局窓口に備え付けの応募用紙に必要事項を記入してもよりの郵便局へ

問い合わせは、平塚郵便局総務課☎（31）1201へ。

◆浄化槽の維持管理を

浄化槽は、微生物の働きにより汚水をきれいにする装置で、その放流水は川や海に流れます。浄化機能を良好に保ち、川や海を守るため次のことを行ってください。

▽保守点検　機械の点検修理消毒薬の補充などの日常の管理は、専門の知識を持った県知事登録業者に依頼する
▽清掃　浄化槽を使用していると槽内にかすがたまり機能が低下するので、年1回以上の清掃が必要
▽法定検査　毎年1回、県知事の指定する検査機関で、水質等に関する検査を受ける

・申込先　県保健協会西湘支所☎（73）0511

問い合わせは、平塚保健所環境衛生課☎（32）0130へ。

◆環境保全シンポ

相模川とその上流である桂川の流域環境保全を考えるシンポジウムが開かれます。

▽日程　3月16日（土）午後1時～3時30分
▽集合　平塚駅南口午前9時（会場までバスで往復）または直接会場へ
▽会場　山梨県大月市民会館
▽定員　二百五十人（バスは50人）
▽申し込み　2月29日（木）までに電話で県水質保全課☎045（201）1111内線3787へ。

◆特別労働相談会

県湘南労働センターでは、労働問題の不安や悩みに応えるため、弁護士などによる特別労働相談会を開きます。

相談は無料で秘密も守られます。

▽日程　3月13日（水）～15日（金）
▽時間　午前9時～午後7時（弁護士相談は午後1時～7時）
▽会場　県湘南労働相談センター（茅ケ崎）
▽相談内容　解雇、賃金不払い、年休、労働時間などの労働問題について

問い合わせは、同センター☎0467（85）1171へ。

◆駐車対策の協力を

駅周辺などに集中する自動車により交通渋滞や交通安全の低下が生じています。

混雑する駅周辺へのマイカーの乗り入れを控えて、バス・電車などの公共交通機関を利用しましょう。また、違法な路上駐車はやめて、駐車場を利用しましょう。

問い合わせは、都市計画課（内線428）へ。

◆ふれあいのつどい

県立湘南青少年の家では、青少年ふれあいのつどいを開きます。

▽日程　3月23日（土）午後3時～24日（日）午後2時
▽会場　県立湘南青少年の家
▽テーマ　炭火バームクーヘンに挑戦
▽対象、定員　小学校5、6年生30人（先着順）
▽費用　無料
▽持ち物　運動できる服装、筆記用具、洗面用具

申し込みおよび問い合わせは、同所☎（61）0676へ。

◆介護講座を開く

湘南老人ホームでは、お年寄りのお世話についての講習会を開きます。

【家庭介護講座】
▽日程　2月19日（月）、21日（水）、23日（金）、3月11日（月）、13日（水）、15日（金）

【介護セミナー】
▽日程　2月17日（土）、24日（土）
※会場　湘南老人ホーム

申し込みおよび問い合わせは、同ホーム☎（76）7580へ。

昨年のごみの資源化フェア会場にて

声のひろば

生ごみ処理器の利用は？

ごみの減量のためぜひ、ご購入を！

質問　市では、生ごみ処理器をあっせんしていますが、どれくらい利用されているのでしょうか。

また、処理器の利用により、ごみの処理経費がどれだけ節減されたのでしょうか。

（中里　河村八重子さん）

お答え　生ごみ処理器は、ごみの減量化を推進するため、平成二年からあっせんを始めました。

今までに、約一万一千個の利用があり、これにより年間約一千四百トンのごみの減量化が図られています。これを、ごみの処理経費に換算すると、通算では、約一億八千五百万円にもなります。

現在あっせんしている処理器は、据え置き型が三種類（価格は一千円から一千三百円まで）、埋め込み型が一種類（二千四百円）となっています。いずれも、市の補助により市価の三分の一程度で購入できます。

なお、購入すると希望により各家庭にお届け（毎月第二、第四火曜日）することもできますのでお問い合わせください。

▽**問い合わせ先　環境衛生業務課（内線239）**

市へのご意見、ご要望はお気軽に広報広聴課広聴担当（内線355）にお寄せください。

あたたかい心

社会福祉基金は、地域福祉のボランティア助成などに使われます。

問い合わせは、社会福祉協議会☎（33）2333へ。

（敬称略）

▽**社会福祉基金**　花水朗友会　一万四千百十六円、すみれ会（日本人形）　五千円、かたつむり　二万円、さくら会　一万八千五百円、杉山忠治　一万円、和田利彦　二万四百四十五円、ひらつかYWCA　一万円、鈴木篠枝　十五万五千九百五十円、花水老人クラブさくら会　五千百七十八円、ビルメンテナンス業協同組合　五十万円、錦町公園愛護会　四千八十二円、神奈川県生命保険協会七十万円、湘南通信電設三万六百十五円、平木敏勝一万円、平塚競輪場第三投票所一同、八千九百六円、早川京子　一万円、立正佼成会湘南教会平塚ブロック十六万六千百三十七円、中原中学校区青少年健全育成推進連絡協議会　一万九百円、平塚競輪場第一払い戻し所七千二百八円、田代四海子二万円、ごみの資源化フェア実行委員会　七千三百十八円、神奈川歌謡連盟歌謡教室シンガー生徒一同二十二万五千三百七十三円、すみれ会　五万円、十二人会　一千円、池野實枝子　十万円、平塚地区同盟二万円、三浦仁和子　四千九百四十円、南部剣道スポーツ少年団　一万六千七百十四円、平塚市民市実行委員会　四万四千二百円、平塚美術協会　十万円、横浜エイロクイップHG募金募金口　十万六千円、横浜エイロクイップHG募金会社分　六万五千円、沼田光憲・憲次三千円、野の花　二万円、共和技術コンサルタンツ　四万六千八十六円、木下政典　五千円、三菱樹脂労働組合平塚支部　十一万五千円、平塚地区労働組合協議会　十万円、神田支所ふれあいまつり実行委員会　二万九千百円、匿名（六件）百三万五千三百円

▽**児童福祉へ**　匿名　一千円、山内俊一　一万円

▽**社会福祉へ**　磯崎輝夫　二千円

▽**交通遺児へ**　平塚バプテスト教会　一万円、イフコレンタカー　二万二千六十二円、匿名　五千円、小林久子　五千円、小林周平五千円、泉栄一　一千五円

●**文化振興基金**

文化振興基金は、芸術文化事業の実施や市民の創造的な文化活動に対する助成などに使われます。

問い合わせは、文化行政推進室文化振興係（内線673）へ。

（敬称略）

・日車サービス　十五万円

●**みどり基金**

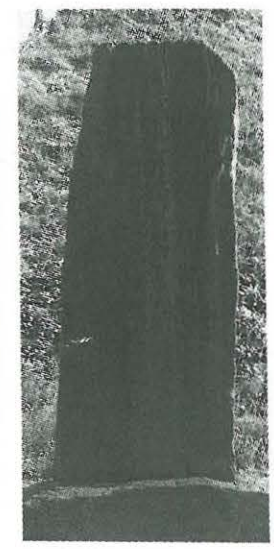
みどり基金は、緑化団体の助成などに使われます。ご協力を。

問い合わせは、みどり公園課みどり推進係（内線425）へ。

・平塚観光文化展募金箱　五千四十三円

石碑を訪ねて

平塚の歴史を読む



約一か月で復旧した馬入橋を見守る碑

陸軍架橋記念碑

大正十二年九月一日の関東大震災は、一府四県に未曾有の惨禍を及ぼします。この大震災により相模川に架かる馬入橋も倒壊します。

この馬入橋の倒壊により大動脈東海道は不通となりその不便さを解消するために一時的に渡船が復活します。しかし、渡船ではその不便さを解消できず、一日も早い橋の復旧が叫ばれました。

当時、この地域は戒厳令下にありましたから、馬入橋の復旧架橋工事に従事したものたちも軍隊でした。

九月九日、京都桃山の工兵第十六大隊約三百五十名は、関東戒厳司令官の隷下に配属になります。そして京都梅小路駅から専用軍用列車で北陸・信越線経由で茅ケ崎に入り、同月十七日馬入架橋工事に着手します。この架橋工事には、豊橋の工兵第十五大隊も参加します。そして、工事は、京都の工兵隊が茅ケ崎側から、豊橋の工兵隊が平塚側から進め、相模川の中州を境界としてそれぞれを分担します。

当時、神奈川県は馬入橋を新設する計画で、仮橋設置のための資材が準備されていたといいます。従って架橋工事は、その資材が使用されました。工具は、すべて工兵隊が所有する道具が使用され、民間から徴用した自動車を使って資材が運搬されました。

京都の工兵隊は、宇治川で架橋訓練を重ねた精鋭でした。しかし、相模川の架橋工事は宇治川の比ではなかったといわれ、茅ケ崎側を受け持つ京都の工兵隊は、杭が流されるなどしてやり直すこともしばしばであったといいます。そして、工事を開始してから約一か月後の十月三日竣工を迎えます。橋の長さ四百五十メートル、すべて人力で完成させたものです。

陸軍架橋記念碑は、大正十二年十月、工事の完成を記念し工兵第十六大隊により建立され、現在、平塚側の馬入橋のたもとに立っています。

（博物館主任学芸員土井浩）